

やまびこ館への招待

収蔵品展2002

やまびこ館のみつつの秘密

平成14年3月5日～5月6日

やまびこ館は、昨年に引き続き、収蔵品展を開催します。今回は、収蔵資料を展示するだけでなく、やまびこ館の役割や日々の活動についてご紹介します。

「やまびこ館」ってどういうところ？

「博物館って楽しいところ！」というやまびこ館のイメージ。それとともに、鳥取市の歴史博物館としての意味を持つやまびこ館の全体像を、簡単にまとめた展示です。

「やまびこ館」はどんなものを集めているの？

平成12年のオープン前から現在まで収集されてきた、さまざまな資料たち。量的な多さや資料の状態による制限などがあって、常にそのすべてを見ていただくことはできません。今回は所蔵資料のうち、約80点を展示します。

やまびこ館がどのようなものを収集しているのかをご覧ください。

「やまびこ館」はどんな活動をしているの？



(仮称)鳥取市博物館 1/200 模型

展示活動・調査活動・教育普及活動など、博物館としての日々の活動についてご紹介します。

期間中のイベント

やまびこ講座 4月7日・14日・21日・28日・5月5日（電話にて受け付け）

ギャラリートーク（展示解説）毎週土曜 午後2時
入館料 500円（小・中・高校生と70歳以上は無料）
開館時間 午前9時～午後5時 毎週月曜日と祝日の翌日休館（月曜日が祝日の場合はその翌日）
問い合わせ先 やまびこ館（上町88・☎23 2140）

やまびこ館は、3月1日から70歳以上の人を対象に無料入館証を発行します。



第17回 国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり通信

～ふるさとふれあい夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日

出会いよろこび海のハーモニー



鳥取県オーケストラ連盟
事務局 井上拓也

右上のタイトルは、国民文化祭・とっとり2002「オーケストラの祭典」のサブテーマです。

さまざまな地域から集まった奏者が出会い、また、奏者と聴衆が出会い、それによって生まれるよろこびを海のように豊かなハーモニーとしていっしょに体験しようという気持ちを込めたものです。

日本ではアマチュアオーケストラの活動が盛んですが、鳥取県のオーケストラ奏者は決して多くはなく、専門的な音楽教育を受けていない人も珍しくありません（私もその1人です）。プロのオーケストラと比べて聴けば劣る部分があるのは間違いないでしょう。それでも私たちの演奏が本物の音楽に近づける瞬間がけっこうある

のがアマチュアオーケストラの面白味です。私たちが仕事や勉学の「日常」に加えてオーケストラ演奏という「非日常」を追い求めてやまないのも、その瞬間があればこそなのです。

昨年10月にプレ公演を経験し、各部門の奏者とも大きな自信を得たところで、今年も練習を開始しています。ジュニアの部ではドヴォルザークの交響曲第8番とチャイコフスキーの弦楽セレナード、大学の部ではラフマニノフの交響曲第2番、一般の部ではマーラーの交響曲第1番を演奏します。いずれも私たちの普段の活動では演奏が難しい大編成のものばかりです。

他県のオーケストラや来場者のみなさんとの出会いを楽しみに、日夜努力を重ねていきます。10月14日、梨花ホールでぜひいっしょに音楽の感動を共有しましょう。

